

○東京婦人矯風會の會員愛姉に告ぐ  
 會員 佐々木豊壽女  
 近年婦人に關する議論世間に喧しく相成ましたが就中昨年萬國婦人禁酒會書記リヒット夫人我日本に渡來して演説を爲されてより一層の勢力を加へて昨暮より今年へ向て一兩毎に婦

人何會と申者増加せり全國を合算するならば餘程の數に至りしあるべし  
 併し此は一時の流行物あるや又は永續すべきものあるや或は忽ち消滅するものあるやは姑く置て先づ大跡より觀察を下せば文明の進歩を助け婦人の氣象精神と身體とを強くするには適當なるべしと思ふされば婦人の何會と云ふもの宜しきものには相違なき事に存す  
 我此婦人矯風會は昨冬より愛姉諸君の組立る所にして彼リヒット夫人のクリスチャン、アンペラニスに基つきて酒煙を禁するは勿論其他一身の不品行及諸の惡風俗を矯正する事にして我國今日の所ては其簡條は十や廿ては算ひ盡ぬ程ありまよふ此惡風俗惡風習を矯正せんが爲に諸君と協力する處の會なれば婦人矯風會は尤も今日に在て大切中の大切ある會と諸君及私も固く信じます  
 又婦人矯風會にて盡力する人も婦人にして之を身に行ふ人も婦人されども風俗の矯正と云ふことは婦人に限りては到底何事も益に立ぬ事と存す例へば一家の婦人は禁酒するとも其夫暴飲あらば之を見習子供を如何にまで制止せんや小供は菓子種の如く父母は菓子形の如し丸き形には丸き菓子角な形には角な菓子を出すとしてありませう  
 且又此等の善事善行を會員の外幾人にて多くの人々に聞かせ度事て有ます婦人は勿論男子にても充分に此主意を能く了解させて社會の惡風習を改良させ度事かれは畢竟傍聴者は十人より廿人百人よりは千人と云ふ如く多き程此會の利益は世に現れる事て有まよふ

左れば男子の方にも矯風會あり又婦人の方にも婦人矯風會の  
 在は車の兩輪の如くにして社會一般の惡風習を洗ふには當今  
 必要の器械ある事と存す夫故に吾愛する姉妹は本會設立已  
 來風雪を浸し寒雨をも厭ひ給はず番町の坂や榎木坂の惡路を  
 も物の數とせず毎も集會成さるは實に感謝致す所です

附ては諸君へ願度事は諸君の御感辭を集會の時充分御演説  
 被下度と申事です何事に因らず自分の事は自分に成されば成  
 効せぬ事は彼の御存知の麥刈農夫が雲雀の喙の通り毎も人よ  
 頼むうちは何事も成らぬ物されば上手下手は一向に頓着せず  
 諸君の感想を演られて一日も早く善良の風俗に矯正あらん事  
 を希望致す併し此會を婦人丈にて演説を成すと限らず有名  
 の男子先生方を聘して演説を依頼し傍聴するも固よりよろし  
 いが併し會員の婦人方は本會の主人氣取て誓て互の思想を  
 演て伏藏かく打解て御話を演へ被下度事と存す是は男子の  
 會に非ずして婦人矯風會と申て婦人の會て有ゆへに左様に存  
 ます

演説を成せば婦人の美德を害すから何ぶん沈黙せよ沈黙せば  
 傍より愚と笑るゝ事はなきぞ(口わけは五臟の見ゆるわけひ  
 かち)など、大層大先生らしく成し居るも昔の世からは宜し  
 いが今の世の中は國內同志だけでなく萬國の人も入り來る世  
 がらされば餘り惡風俗は早く止めて貰はなければ御同様吾々  
 の肩も狭くて困ります婦人の名の付た會にて眞に婦人の自ら  
 爲居るは舞踏音樂裁縫の三種だけと思ひます婦人が演説を成  
 して善か悪かの問題に至ては昨年リビット婦人の演説にあり  
 ました由されは別に私は申述ません又此の婦人矯風會が毎も

男子先生を依頼せぬバ誰も發言せぬよふの事にては此會を華  
 彼男子の矯風會へ頼むか又は學士會員の老先生方へ依頼して  
 婦人に屬する演説を成して貰ふ方よろしと思ひます否々幾百年  
 の久しき男子擅制の風俗に甘したる人々は如何に敏捷の才量  
 ありと雖も矢はり支那日本に行れ來れる壓制主義を差置きて  
 婦人百般の迷惑を一々考へて劇かに婦人の苦情を能くさとり  
 知るの理は萬々なき事と存す

左れば婦人の痛みは婦人より演されは男子は之を知る由は有ま  
 く又婦人の迷惑は婦人より演されは男子は之を知る由は有ま  
 すまい近く譬て申さは最早向島の櫻の時節にも成ますが櫻の  
 節などの事を御覽なさへ婦人連などが堤上を歩みますれい幾  
 人も大酔の荒くれ男子どもが片手に酒樽を携げ片手は裸ぬき  
 て途上に立ふさかりて婦人の通行を妨げ又は肩かどを捕へて  
 嘲けり笑ひ又は諸種過言を申さするが(野蠻の極度と明らか  
 居られませうか)此如き事ハ我々婦人に於ては實に形容す可  
 らざる迷惑にして往來よ於て此如きの無禮を成すは身の毛も  
 よ立程に恐ろしく思ひて一年一度の花見も快ろよく見られぬ  
 不幸の事てありますと皆様此事に附て男子先生方の喧し  
 き建議建白てもあります論文でもあります私などは未だ  
 見ません男子かたの氣の附ぬ事から婦人に於ては道路に辱  
 しめを受けるに均し普大抵の迷惑どころの事では有ません已に  
 昨年の花見なども大酔の男供か手つなきを爲して年頃の少  
 婦の通行を妨げ又は肩に倚すかりかどとして婦人の赤面し遁る  
 を面白そうに手たゝきして高笑するも相應に見ましたが昨年  
 の新聞紙にも此無禮を戒めたる事も見ません先づ是は男子の

必附すして婦人の迷惑する百分一の事てすが此の如き事共澤山有ます故に婦人は婦人の迷惑なる事や惡風俗を矯正する事に附ては充分に演説あらん事を希望致ますどうしても婦人の事ハ婦人が訴へ出さねば成ません決して私共が喋々を好む譯では有ません實に已を得ずして會員に訴へ出して世上の輿論に評決を希はねば成せん事共が澤山に有ますと